（別紙4（2））

事業所名：グループホーム小笠

作成日： 平成 26 年 3月 28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	一人ひとりの思いや意向のくみ取り方が薄い。趣味や特技が十分活かされていない。センター方式を使わず独自のシート及び発見シートを活用しているが表出が少ない。	利用者の趣味や特技を活かし、生活に張りが出るようにしたい。	①独自の発見シートに一人ひとりの生活歴を詳しく表出し、活かせる趣味や特技を生活の中に入れていく。 ②パーソン．センタード．ケアのツールについて研修を行い活用に向けて努力する。	12ヶ月
2	2	会社や職員と地域の方の関係性はできているが、利用者と地域の方の触れ合いが薄い。	利用者と地域の方が触れ合う機会を最低1～2回/年持ちたい。	①グループホーム近くの神社へおやつを持って散歩をし、地域の方と触れ合う。1回/2ヶ月 ②地域の方にグループホームの見学やボランティアとして受け入れを行う機会を設ける。2回/年	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。